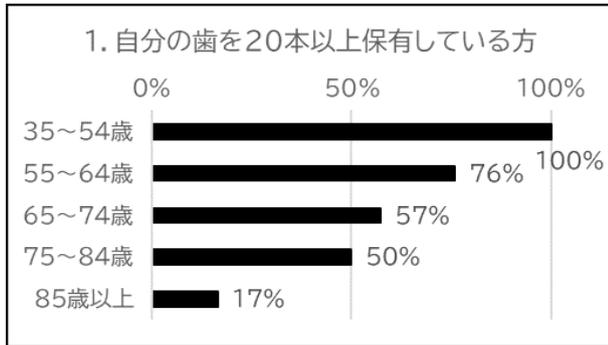


余市町の口腔（歯）の健康状況について

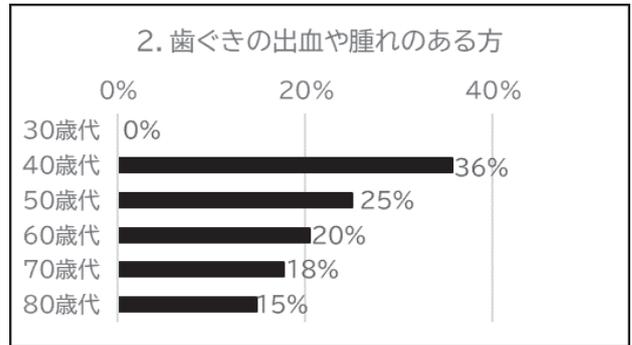
町では、令和4年度に「成人期から高齢期の方の口腔の健康に関する実態調査」を実施しました（対象者は6月に実施した集団健診受診者321名）。北海道歯科保健医療計画（8020歯っぴいプラン）の目標値の達成状況と合わせて結果をお知らせします。

ご自身の口腔機能状況を確認していきましょう。

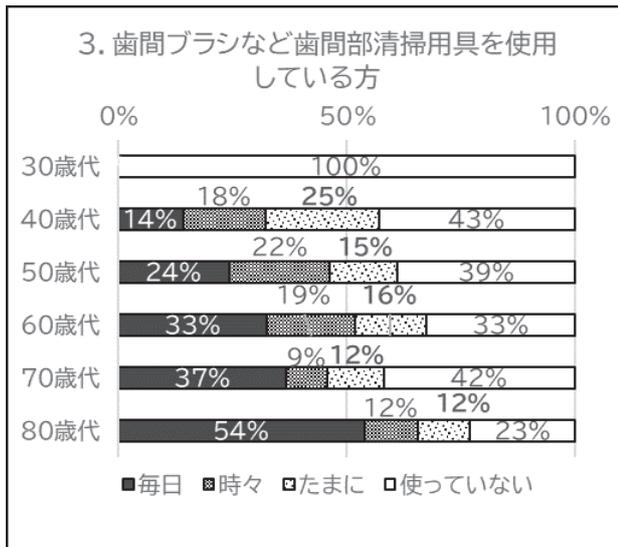
※北海道歯科保健医療計画（8020歯っぴいプラン）とは、80歳で20本以上の歯を有する割合の増加と、自ら歯・口腔の健康維持増進が図られるよう支援し、生涯にわたって食べる楽しみを持ちながら生活していくことを目的とした計画です。



・75～84歳で自分の歯を20本以上保有している方が50%以上の目標値に対し、余市町民は50%でした。



・歯ぐきの出血や腫れのある方は全体で20.5%でした。年齢別では、40歳代がやや高い状況でした。



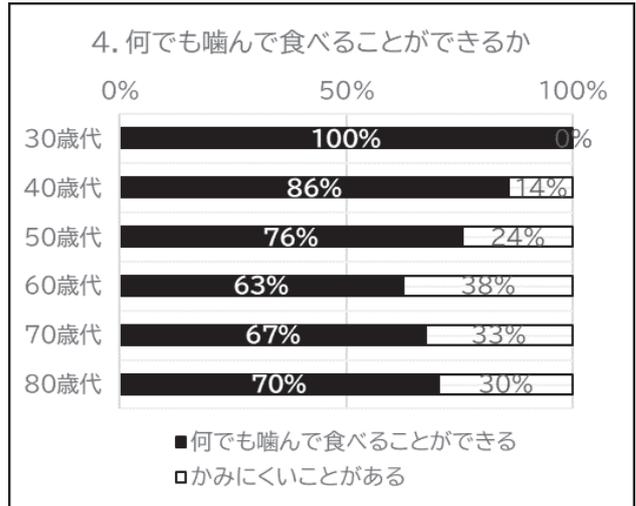
・歯間ブラシなどを使用する40～50歳代の目標値は60%以上に対し、余市町民は59.4%であり、わずかに達していませんでした。

歯の健康のために、歯間ブラシなどを利用し歯の衛生に心がけ、定期的に歯科健診を受診し、80歳には自分の歯を20本残せるようにしましょう。

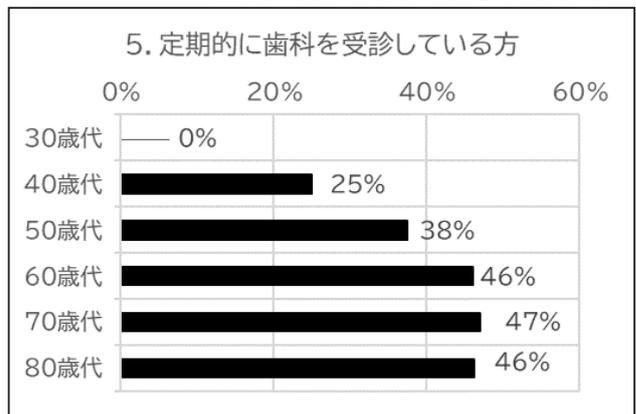
【後期高齢者歯科健診のご案内】

町では、後期高齢者医療加入者を対象に口腔機能低下や誤嚥性肺炎等の疾病を予防し、健康の保持増進を図るため、歯科健診を実施しています（自己負担金400円）。

歯の健康を守ることは全身の健康につながります。年に1度歯科健診を受診しましょう。申込みは子育て・健康推進課までお電話ください。



・何でも噛んで食べることができるかの60歳代の目標値は80%以上に対し、余市町民は63%であり、70、80歳代とあまり変わりませんでした。



・定期的に歯科を受診している方が40%以上の目標値に対し、余市町民は、42%であり、特に60～80歳代の方が多く受診していました。